



代々木果廻会「井筒」

令和五年十月二十八日(土)

於 代々木能舞台 午後一時始

(十二時半開場三時頃終演予定)

代々木果廻会
お申込フォーム↓



仕舞

嵐山
柏崎道行

小早川康充
小早川修

【仕舞】

嵐山
柏崎道行
小早川修

地謡
馬野正基

武田宗典
武田祥照
武田崇史

【能 井筒】

シテ
ワキ
間
有常ノ娘
旅僧
里人
小早川泰輝
福王和幸
山本則重
笛
竹市学
小鼓
曾和正博
大鼓
國川純

後見
浅見慈一
地謡
浅井文義
鶴澤光

小早川修
馬野正基
武田宗典
武田祥照
小早川康充

能 井筒

小早川泰輝



告知動画

井筒 (いづつ) あらすじ

諸国一見の旅僧が奈良の寺への参詣を終えて初瀬への途中、在原寺に立ち寄る。在原寺が業平ゆかりの跡と知り、弔いつつ唄んでいると一人の若い女が古塚に回向の水を携え現れた。
僧が女に問いかけると、古塚は在原業平の墓所であると教え、僧に求められるままに『伊勢物語』の業平と紀有常の娘を描いた恋物語を語る。そして、私が紀有常の娘であり筒井筒の女であると告げて、井筒の陰に消えた。(中入)
更け行く月の夜。夢待つ僧の元へ、業平の形見の直衣、装束を纏った有常の娘が現れた。
月下の光が映える中、有常の娘は業平への甘美な回想を辿り、華やかな業平の姿を移した舞を見せる。娘は業平への高まる恋慕を懐かしみ、やがて夜明けとともに夢も覚め、消えていった。

主催 代々木果廻会

お問い合わせ

Mail info@yoyoginobutai.com
FAX 03-3370-2757・TEL 090-1208-8453 (小早川)

前売券※当日券 1,000 円増

一般 5,000 円
学生 2,500 円

要予約

1,500 円

プレ・レクチャー

講師 表きよし

公演当日 十時半〜十一時半

公演会場設営のため、十二時半までご退場頂きます。